

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 16 年 12 月 2 日 (2004.12.2)

【公開番号】特開 2003-48347 (P2003-48347A)
【公開日】平成 15 年 2 月 18 日 (2003.2.18)
【出願番号】特願 2001-241262 (P2001-241262)
【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 5/44

G 0 6 F 3/12

G 0 6 F 17/21

【F I】

B 4 1 J 5/44

G 0 6 F 3/12 G

G 0 6 F 17/21 5 6 2 P

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 17 日 (2003.12.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記フォントデータの保護を解除して使用可能とすることができないように設定したことを解除できることを特徴とする請求項 1 1 に記載のフォントデータ管理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

前記パスワードが入力された際に、入力されたパスワードを記憶し、前記使用不可とされたフォントデータについてパスワードが記憶されている場合、パスワードの入力なしでそのフォントデータを使用可能とできることを特徴とする請求項 1 1 記載のフォントデータ管理方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

前記記憶されたパスワードを削除できることを特徴とする請求項 1 4 記載のフォントデータ管理方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6】

前記記憶されたパスワードと対応するフォントの種類の一覧を印刷できることを特徴とする請求項 1 4 記載のフォントデータ管理方法。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 7】

前記パスワードは、暗号化されたフォントデータを復号するための復号鍵であることを特徴とする請求項 1 1 記載のフォントデータ管理方法。